

= 普及情報 =

No. 20

令和7年11月20日

東部農林水産振興センター雲南事務所農業部

標 題

「有機野菜現地研修会」を開催しました！

(ダイジェスト)

雲南事務所農業部はJAしまね雲南地区本部、農業技術センター技術普及部の協力のもと、11月7日に有機野菜展示ほ（ブロッコリー）を活用した現地研修会を開催しました。

雲南市の認定新規就農者や農大生（短期養成コース）、市町担当者、JA担当者からの参加があり、有機ブロッコリー（転換期間中）の取り組み状況を紹介し、今後の普及を図る機会になりました。

雲南管内では有機野菜の普及に取り組んでいますが、栽培技術が確立できていないこと、既存生産者が少ないことから新たに取り組む生産者が少ないのが現状です。そこで、有機栽培ブロッコリー（転換期間中）展示ほを設置し、併せて行った栽培方法等の比較結果や生育状況等を広く知ってもらうため現地研修会を開催しました。

展示ほで行っている比較は、①高温に強い苗作りのための自家育苗②収穫期分散を目的とする3品種の比較③高温対策のための3種類のマルチの計3つです。その結果、自家育苗では徒長しない良質な苗を作ることができ、品種特性やマルチによって活着率やその後の生育に差が出るということが分かりました。

JAしまね雲南地区本部からは販売について情報提供があり、初めての取り組みのため、規格の作成に苦労したこと、販売先からは発砲スチロール、氷詰めを求められたが、収穫後の予冷で代替していること等販売面の課題を話してもらいました。

今回の研修会を通じて、参加した生産者からは「病虫害の課題はあるが有機でも作れそう」、「次作は自分も作ってみようかな」等の声が聞かれました。

また、参加した市町の担当者からは学校給食への出荷を提案され、前向きに検討していくこととなりました。

農業部では引き続き関係機関と連携しながら有機ブロッコリー（転換期間中）の栽培技術の確立、管内での普及に取り組んでいきます。



写真 実施風景